

——創立50周年を迎えたが、それもこれ
も今の姿になるための
え。

「まずはこれまで支
えていただいたお客さま
まや協力企業の皆さま
ん、社員OBそして創
業者である先代に対
し、感謝を申し上げま
す。振り返ると私が2
代目のバトンを引き継
いだ2011年7月以
降、人の出入りが多く
なかったつらい時期も
社づくりにも進んだ



中村 武史社長インタビュー

「現場力」磨き「いい品物」提供し続ける

い
——具体的には。
「われわれは『極厚
板を扱うガス溶断技術
の「現場」を掲げ、
いい品物を提供し続け
ることで顧客から頼ら
れ、選ばれる存在にな
ることを目指して日々
努力しています。極厚
板の事業将来性につい
ては、ニッチな市場だ
からこそ確かな技術を
有していればしっかり
しごと、したたかに
残り、適正な利益を創
出しながら商売基盤を
確保していけると確信
しています。だからこ
そ、専門性を持ち、オ
リジナルの技術と対応
力を備え『中村機材に
任せておけば間違いな
い』という信頼を得る
ことが、私の考える
「いい会社」です」
——これからの課題
について。
「やはり『現場』を
強くしたい。そのため
に人材をしっかりと育
成し、その個人が主
体性を持ちながら全員
で協力しあい、組織と
して総合力を創出・発
揮できる社風を整える
のが私の役目です。創
業者がカリスマ指導力
でワンマン経営してい
た時代から、私の代は
組織で運営する体制に
変えつつあります。定
期的な勉強会など社内
イベントを通じて参画
意識を高め『1人ひと
りが考え、みんなが実
践する』ことが形にな
りつつあります。とて
す」

も頼もしく、これから
が実に楽しみです。ど
んどん磨きをかけてい
きます」
——その先にある将
来像は。
「企業なので、事業
活動でしっかりと成果
を出し続けること。
収益については創立以
来の先代の堅実経営路
線を今後も継続するこ
とが必須であり、また
社員の総力を結集して
生み出した技術力、現
場の成果と捉え、絶え
ず新たな価値を顧客に
提供できる会社基盤を
整えていきたい。常に
進化しながら次の節目
を迎えられるよう、自
らを鼓舞していきたい

